

雨の日に遊ぼう

時期 春～夏

時間 1 時間

場所 園庭、園周辺

- 雨が小降りになった時や、やんだ直後に外へ行き、空を見たり周囲のにおいをかいだり、生き物や植物の様子を観察したりする。
- 木や遊具の下に立ち、上から落ちるしずくで遊ぶ。
- 水たまりで遊ぶ。

ねらい

親しむ ・雨の日の生き物や植物の様子に興味をもち、観察しようとする態度を育てる。

知る ・雨の日や雨上がりの遊びを通して、晴れの日と雨の日の違いを感じさせる。

活動展開例

準備物	・傘 ・雨合羽などの雨具 ・長靴 ・着替え ・タオル		
展開	時間	活動内容	留意点
	事前	○「でんでん虫」「あめふりくまの子」などを歌う。	・雨に興味をもったり親しんだりできるように、朝や降園時に歌ったり手遊びをしたりする。
	5分	○雨の日と晴れの日ではどのような違いがあるのか、生き物や植物はどのような様子なのかなど、観察する視点を聞く。	・空や生き物や植物の様子、周囲のにおいの変化などに興味をもてるような言葉をかける。 ・外に出たがらない幼児には、窓から見える様子で雨を感じさせるなどの工夫をし、少しずつ外に興味をもたせるようにする。
	5分	○雨合羽の着用や、傘の扱い方を聞き、園庭に出る準備をする。	・傘の使い方や身支度の仕方などを伝える。
	40分	○雨の日の生き物や植物の様子を観察する。 ○木の上から落ちるしずくや、遊具にたまった水で遊ぶ。 ○水たまりで遊ぶ。	・上から落ちるしずくの感触を味わえるようにする。 ・水の流れる方向（高→低）などに気付かせるようにする。 ・幼児の遊びの広がりによって材料や道具を準備する。 ・夕立や雷などを見る時は、安全を確保する。
	事後	○雨の日に変化する植物を育てたり生き物を飼育したりして観察する。	・幼児の興味や関心に応じて、継続して関われるようにする。

幼児



活用ガイド

○遊び方

=生き物や植物を観察しよう=



かたつむり、みつけた



かたつむりを飼ってみるのも面白い。食べ物によってうんちが変わる！

=しずくで遊ぼう=



素敵な指輪でしょ



しずくがついた遊具にお絵かき

=傘で遊ぼう=



並んだ、並んだ



傘でぐるぐる



カラフル傘、いいでしょう

=水たまりで遊ぼう、雨上がりに遊ぼう=



つながった、つながった。川になったよ



ぺったぺたのケーキ屋さん



いらっしゃいませ、クッキーはいかが？



コーヒー牛乳です。

《雨の日に変化する動植物》

～花～

例) ムラサキカタバミ



しぼむ

～実～

例) マツボックリ



笠が閉じる

～生き物～

《動きだす生き物》

カタツムリ、アメンボ、カエル

《じっとしている生き物》

チョウ(葉の下)
アリ(行列がなくなる)